



Vol.20 No.1

Oct.2009

Council 8 Japan Region

Newsletter

前向きに考え 行動しよう

Positive Thinking and Action

カウンスル 8 第20期会長 岩佐 圭子

今から約20年前、カウンスルNo.1は15クラブに増え、会員数は300名以上、地理的にも7県の広域にわたり、限界に達していました。そこで、数年前より検討されていた分割を遂に実行することになり、東京、筑波、青山、柏、千葉、サンデー、東葛の関東7クラブがカウンスルNo.1を離れて、1990年にカウンスルNo.8が誕生しました。

あれから20年。カウンスルNo.8は所属クラブ数も会員数も増えて、順調に発展を続けましたが、そんな中、クラブの解散もあり、また、最近では会員数の減少傾向が目立つようになってきました。会員数の減少は、ITCのどのレベルでも、どの地域にも見られる最近の顕著な傾向で、簡単に解決できる問題ではありませんが、今期のテーマ、「前向きに考え、行動しよう」の精神で、積極的に、具体的にこの問題に取り組み、少しでも改善できたらと願っております。

No.8では数年前の組織の簡素化で第二副会長が空席となり、会則によれば、常任委員会にPREM委員会は入っていません。副会長は20周年記念会合の準備で忙しいので、今期は会長が第二副会長の任務を兼務することにし、特別委員会としてPREM委員会を設けました。本格的なPREM活動を展開するためには、会則を修正し、PREM活動の責任者をはっきりさせるべきだと思いますが、会則を修正し、担当役員を明記しても、PREMの基本はクラブにあります。クラブでのPREM活動、特に会員数の補強に力を入れて下さるよう切にお願い致します。各クラブの状況を把握するため、PREM委員を同道して、今期中に全12クラブを訪問する計画も立てております。

さて、20周年記念会合はもうすぐですね。No.8に所属する全12クラブ参加のプログラム、どのクラブも前向きに取り組み、それぞれ特徴のあるプログラムを発表して下さるようで、大変嬉しく思っております。皆様、ご期待下さい。リージョンから公式訪問者の岡崎会長を初め役員7名が、また、退会された元カウンスル会長も数名ご出席の予定です。では、10月27日にお目にかかることを楽しみにしております。



年間テーマ

国際 : Coach for Success 成功へのコーチ

リージョン : 実践 知識を叡智に

Practice-Knowledge into Wisdom

新役員はこんな人

岩佐圭子会長

- 1) 盛夏軽井沢の家のテラスで読書や昼寝などでボーとしている時。
- 2) ゴルフの調子が悪いこと、年のせい？それとも会長の疲れ？
- 3) 自分の生活リズムを保つこと、無理をしないこと。
- 4) 夏目漱石
どの年齢で読み返しても、いつも得られる新鮮さに惹かれる。

藤原雅子書記

- 1) 美味しい和菓子を濃い緑茶でいただきながら、のんびりテレビを見ている時。
- 2) カウンシル書記の仕事をしっかり務めることができるかどうか。
- 3) なるべく歩くこと。
- 4) 浅田次郎
読後感が爽やか。幅広いジャンルと知識の深さに感心します。

川崎洋子議会法規役員

- 1) 購読の新聞3種にゆっくり眼を通すひと時。
- 2) ITC 以外の所属団体の仕事に時間を取られ、好きな映画を見る時間がないこと。
- 3) 毎日の犬との散歩。和菓子の誘惑に負けないこと。
- 4) 夏目漱石
作品よりも作家としての生涯・思想に興味がある。

新役員の方々にお聞きしました。

- 1) 至福の時はどんな時？
- 2) 目下、最大の悩みは？
- 3) 健康面で留意していることは？
- 4) 好きな作家(含む 外国)は？

西村郷子副会長

- 1) おんぶした孫がぐっすり眠りその一身を我が背に委ねきっている時。
- 2) 20周年の記念会合が恙無く執り行われるよう祈るばかりです。
- 3) 毎朝のラジオ体操が体調を知るバロメーター。
- 4) 曾野綾子、司馬遼太郎(特に紀行文)

櫻井慶子会計

- 1) 未だ「色気より食い気」美味しいものを頂いている時。
- 2) 夜熟睡できず、昼睡魔に襲われること。
- 3) 歩け、歩け！体脂肪率と血圧を下げること。
- 4) エリス・ピーターズ
「修道士カドフェル」シリーズ

島田富美子 CLO

- 1) スパのトリートメントやマッサージを受けている時。
- 2) 体重オーバーのため夕食を極力減らしていること。
- 3) 運動不足解消にヨガを始めた。
- 4) 伊坂幸太郎

カウンスルNo.8 20周年に寄せて

カウンスル 8 20周年に思うこと

分割時のカウンスル 1会長 小林 令



日本 ITC に於けるカウンスルの歴史を辿りますと 1971 年 Div.VI 副会長に就任された Norma Ewin さんが日本のカウンスル設立に多大な指導尽力され、名古屋、阪神、神戸の3クラブでカウンスルが結成されました。1977年東京クラブが認証された時も未だ日本には唯一カウンスル No.1 のみで、その時の日本の全会員数は 190 名余と記録されています。その後は日本リージョンの隆盛期に入り、2 度目の大々的なカウンスル編成替えが着手された 1987 年頃には、関東でも既に筑波、青山、柏、千葉、サンデー等のクラブも設立され賑やかに活躍していましたので、No.1 も名古屋を中心とする中部地区と関東地区に分割する案が出されました。併し双方の会員の十分な同意が得られずに分割案は一時見送られました。分割反対の理由には、中部・関東の広い地域にわたるクラブの交流には地域のカラーを生かした幅広い意見交換のメリットがあること、名古屋地区には伝統を重んじ常に基本に根ざした堅実さの魅力を、関東地区には自由な発想で型に嵌らない奔放さの魅力を双方が認め合いこの交流の輪を失いたくないとの思いが交錯していました。幾度も分割の是非を廻るディベートを重ね、遠距離による時間的経済的不便さを納得して分割は実行に移されました。

この頃の日本の全会員数は 1200 名余り、その数年後は 1800 名余となりましたが現在は下降線を辿り 1300 名余、20 年前のあのエネルギーは何だったのでしょうか。



分割の頃のこと

分割準備委員会委員長 松下 素ん

私共の親カウンスルの 1 は 1973 年に設立され、その 4 年後にチャーターした東京クラブが初めて関東からのクラブとして所属することになりました。

以後、1 は時代の要請と相まって所属クラブ数が増え、1981 年に 15 クラブとなったために 3 カウンスルに分割されました。1 は名古屋、葵、東京、錦クラブで再出発しました。

その後も所属クラブは増え続け、1988 年頃には名古屋地区 8 クラブ、関東地区 7 クラブの計 15 クラブの大所帯になっており、再度の分割が検討され始めました。

分割に当り関東地区でアンケートを取った結果、会員は必ずしも分割に乗り気でないことが分かりました。独立すれば今までおんぶに抱っこだった運営を全て自分達でしなくてはならないという恐怖と慣れ親しんだ名古屋地区の会員との絆が切れてしまうことの寂しさが相まっての反応だったと思います。

一方、筑波、柏、千葉、サンデーが英語カウンスルとして独立するという案も出されました。

紆余曲折の末、1989 年 10 月リージョン会長より配属通知を受け、東京、筑波、青山、柏、千葉、サンデー、東葛の 7 クラブが翌年の 90 年度より 8 として発足しました。

発足までの一年間、分割準備委員会は新カウンスルの会則・常規の原案作成と採択、

1 の財産・備品のリスト作成とその公平な分配の作業を行いました。

カウンスルNo.8 20周年に寄せて

ITC を離れて思うこと

元カウンスル 8 会長 曾根 悦子



カウンスルNo. 8 が誕生 20 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。私がカウンスル会長をやらせていただいたのは第 6 期ですから、ずいぶん昔のことになります。年間テーマは、昨今のオバマ大統領や民主党への政権交代を先取りしたかのように「変化」Change でした。

何を変化させたかったかといいますと、ITC の事務の煩雑さ、無駄の多さ、何事にも丁寧すぎるやり方、古い体質などだったと思います。この思いは、カウンスル会長をした期だけではなく、ITC 在籍中ずっと感じておりました。役員の一員として会合の回数を減らすのを推し進めたこと、会則改正をして役員数や委員会の数を減らしたなどにも繋がっております。

その結果が良かったのか悪かったのかは分かりません。ただ自分なりに燃えていたなあという感じはあって、大変懐かしく思います。

ITC を離れて 2 年になる現在、こうした簡素化への思いの他に、毎月のプログラムやスピーチコンテスト、役員会や委員会活動で精一杯がんばったことは貴重な思い出です。

カウンスル 8 の今後ますますのご発展をお祈りいたします。

前出の似顔絵は全て嶋田凱子（東京・東京セトリ）さんによるものです。

“ 前向きに考え 行動しよう ” への一歩

プログラム委員長 西村 郷子



私の机の上は、ITC 専用となったパソコン、イスラム辞典はじめさまざまな辞書、そして ITC 関係の書類があちこちに乱雑に置かれてまことに汚い。その散らかった机の隅で一つの言葉がそと私を試すように見ている。“ すべて人生のことは、『させられる』と思うから辛かったり惨めになるので、『してみよう』と思うと何でも道楽になる ” 私が勝手に師と仰いでいる曾野綾子の言葉だ。

このたび、20 周年記念会合のプログラム委員長の大役を荷うことになり緊張と不安で眠れない夜が続いた、出来るのだろうか？と。何事も勉強よと励まされても、あなたは頑丈そうだからと慰められても、なよなよと崩れ落ちる。が、不思議なことだ。いったん『してみよう』と前向きになると、何処からともなく救いの手が差し伸べられ、励ましの声が聞こえ、独りではないと教えてくれる。会長、役員はじめ各クラブの代表として活躍してくれているプログラム委員、代表、コーディネーター、そして皆の“ いいプログラムを作るために協力と努力は惜しまないよ ” という ITC 魂みたいなものが温かくジーンと心に沁みて・・・これがすなわち「道楽」なのだろうか。

1990	期	会長名	年間テーマ	出来事
1991	1期	堀江 祐子	前向きに	東京、筑波、青山、柏、千葉、サンデー、東葛の7クラブで スタート(1990.8.1) 蕪崎クラブ認証(1991.6.12)
1992	2期	今井千代子	より高く	カウンスル会合が、年4回から3回へ
1993	3期	柴田 ひさ	自分の人生の開拓を	第11期リージョン会長 星野佐登 彩玉クラブ(1993.6.9) 認証 つくば紫峰クラブ(1993.6.24) 認証
1994	4期	松下 糸ん	全員参加	横浜クラブ認証(1993.8.2)
1995	5期	中村 治子	自分自身で	第13期リージョン会長 小林 令 盛岡クラブ認証(1994,12,30) リージョン大会 初の関東(東京)地区 開催
1996	6期	曾根 悦子	変化	
1997	7期	目羅てる子	多様性の尊重	
1998	8期	嶋田 凱子	コミュニケーションって何?	アクア千葉クラブ認証(1998.6.1)
1999	9期	藤原 雅子	明日への架け橋	世界大会 初の日本(神戸)開催(1999.7.17~21) つくば紫峰クラブ解散(1999.7.31)
2000	10期	松尾はるみ	力を合わせて!	第18期リージョン会長 今井千代子
2001	11期	関 稔子	素晴らしきかな 人生	国際ピーチコンテスト優勝 小寺恵子
2002	12期	金子 維美	新しい波に乗って	東京セントラルクラブ認証(2002.6.1) カウンスルウェブサイト開設
2003	13期	永井 眞澄	改革にチャレンジ	「組織の簡素化」に着手
2004	14期	柘植 法子	なにごとにも前向きに	
2005	15期	遠藤万寿美	爽やかな実践	「組織の簡素化」がスタート カウンスル会合が年2回となる
2006	16期	澤登 芙蓉	昨日に学び、今日に 生き、明日に希望を	ITCの全レベルでCLOを任命役員とする
2007	17期	田久保節子	慧眼	千葉クラブ解散(2007.7.31)
2008	18期	白垣 駿一	原点回帰	
2009	19期	川崎 洋子	出会い	簡素化で副会長兼務となっていたスピーチコンテスト 委員長職を復活

第二副会長職と常任委員会の予算財務、増設、スピーチコンテスト、歴史、広報、サービスユーロの委員長職を簡素化

こうすればもっと良くなる！

第1期 堀江 祐子

カウンスル No.8 がチャーターされて 20 年となりましたが、No.8 にとって今が一番厳しい環境にあると思います。会合の開催が年 2 回なので、お役がない限り他のクラブ会員との交流が少ない上に、少人数クラブが多く、クラブ活動が精一杯でカウンスルに目を向ける余裕がないのが現状ではないでしょうか。このような状況下で、私には直ぐに役立つ即効薬は思いつきませんが、クラブ間の交流をもっと積極的に促進することが第一歩になると思います。カウンスル内で会員同志が親しくなり、コミュニケーションがより深まれば、カウンスルへの親しみが増し、それが活動の活性化に繋って行くと思うのです。

第3期 柴田 ひさ

私はつくばから移籍の年に会長をさせて頂き、無我夢中だったと思います。現在フルタイムで働いていますが、当時は非常勤で、若さも後押ししてくれたのでしょう。クラブ例会にはゲストを招き易く入会への弾みにもなりますが、カウンスル会合は先ず会員自身が出席を心掛け、他クラブ会員との貴重な交流の機会とすることです。昼食やお茶の時間のくだけた交わりから輪が広がるでしょう。会員個々のウェブサイト活用は勿論です。

第13期 永井 眞澄

カウンスル 8 20 周年おめでとうございます！

8 の皆様は、他のカウンスル会合をご存知でしょうか？ カウンスル 8 のメンバーは、優れた人材に恵まれています。会合は少し殺風景で参加者の少なさにきっと気付かれると思います。そこで、担当クラブは、プログラムの用紙に何か趣向を凝らしたり、テーブルデコレーションの工夫など、美しい会場づくりを目指して、ゲストや新入会員にまた参加したいと思って頂けるようにします。「カウンスル 8 は、もう少し潤いと小リージョンのような雰囲気、優雅さのある会合にすればもっと良くなる！」と思います。

第14期 柘植 法子

この 20 年間、会員の意見を出来るだけ聞いて、楽しいプログラムを考えてきました。カウンスル No.8 はとてもアットホームなカウンスルだと思います。これからも、この雰囲気を残しながら、ますます発展して行けたらと思っています。意見が言えるカウンスル、これが私たちのカウンスルの顔であっていいのではないのでしょうか。「やっと時間を作り出席したが、ほかのクラブの方々と有意義なお話が出来て楽しかった、クラブではできないプログラムに参加出来て良かった」、という感想が沢山聞けると嬉しいです。

世界大会に参加して

第 64 回 ITC 年次大会は、2009 年 7 月 18 日～25 日、アラスカクルーズの船上で開催されました。カOUNスル 8 からの参加者は川崎洋子（東京セトル）夫妻、大屋奈々（東京セトル）夫妻、白垣駿一（サデー）夫妻、小菅あけみ（サデー）夫妻、藤原雅子（柏・東葛）、中野洋子（柏）の 10 名でした。



「素敵なクルーズ船 “Serenade of the sea” で皆様を御待ちしています」という誘いにのり、カナダ大会に参加しました。2000 人収容の豪華なクルーズ船での 7 日間は、色々な人々との出会いと乗務員たちのもてなし、素晴らしい景色を満喫した旅となりました。乗船一日目に緊急避難経路の確認をする際、乗客全員が救命胴衣をつけて甲板に集合。参加者のぎこちない動作が何とも滑稽でした。レストランや、コンベンション会場等でも隣にいる人々が気さくに声を掛けてくれる。

正に「コミュニケーションは金」なり。

そして、日本リージョンのメンバーと親しく話をする機会に恵まれた事は忘れられません。食事時のウェ이터達による日替わりのエンターテイメント、清掃係は、日々居心地よく部屋を整え、タオルで動物を作り楽しませてくれました。ハイライトは間近に見た氷河でした。長い年月に創り上げられた自然の造形に畏敬の念を感じました。

中野洋子（柏）記



お知らせ

10 月 27 日	カOUNスル 20 周年記念会合
11 月 3 日	ウェブサイトにて記念会合スナップ写真公開
12 月 15 日	第 2 回ニューズレター（記念会合報告）発行

記念会合準備のお忙しい合間をぬって執筆にご協力いただきました皆様に感謝いたします。

- * 今回 20 周年の特集を組むに当たって、過去のニューズレターを紐解いてみました。少し黄ばんだ紙面に、今もご活躍の方々の若かりし姿、すでに退会された方と、熱い思いで共に紡いだ活動の歴史が蘇り、感慨深いものがありました。（R.M）
- * いつも熱心にニューズレターを見なかった私が編集委員となり、改めて、今まで心を砕いてニューズレターを作って下さった先輩に、心から感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。どうか、会員達が会合に参加したくなりますように……！（K.W）
- * パソコン音痴の私が編集委員だなんて信じられナイ。しかも、ニューズレターがネットになってからは全然読んでなかったので、編集委員として役に立たなかったかも。それに引きかえ、編集長はすごい！（S.K）